

【第6次総合計画→第7次総合計画】基本構想の構成の比較

第6次瑞浪市総合計画（基本構想）

第1編 総論

1 計画の意義と特徴

2 計画の構成と期間

3 時代の潮流（計画策定の背景）

4 瑞浪市の現状と課題

第2編 基本構想

1 瑞浪市の目指す都市像

- ①将来都市像
- ②まちづくりの基本方針
- ③まちづくりの重点方針
- ④人口・世帯の目標
- ⑤まちづくり指標
- ⑥土地利用構想

2 施策の体系

- ①みんなで支え合い健やかに暮らせるまち ～健康福祉～
- ②安全・安心で人と地球にやさしいまち ～生活環境～
- ③自然と調和した快適で暮らしやすいまち ～都市基盤～
- ④まちの魅力を活かした活力あるまち ～産業経済～
- ⑤いきいきと学び心豊かに暮らせるまち ～教育文化～
- ⑥市民と行政で創造する夢のあるまち ～新たなまちづくり～

3 基本構想の推進にあたって

【基本コンセプト】

- ICT化による急速な社会情勢の変化や多様化するニーズに対応する必要がある。また、SDGsといった共通目標の重要性が高まりを見せている。こうした時代背景のなかで、基本構想をビジョンブックとして市民に周知していく。ビジョンブックというアウトプットを見据え、より分かりやすくシンプルな構造で見直しを図る。

【見出しレベル1における視点】

- 第7次では「I 基本構想」「II 計画の策定にあたって」とした。上記コンセプトを踏まえ、計画書の冒頭で“何をを目指すのか、何をするのか”を強調するため。

【見出しレベル2における視点】

- 第6次における「第1編 総論」「1」～「2」については、第7次「第1章」に位置づけ、導入部を最小限の表現とした。
- 第6次における「第1編 総論」「3」～「4」については、基礎資料として捉えられるため「計画の策定にあたって」に位置づける。

【見出しレベル3における視点】

- 第6次における「第2編 基本構想」「1 瑞浪市の目指す都市像」については、基本コンセプトを受けてシンプルにした。

- 「②まちづくりの基本方針」は「2 施策の体系」と合体させて第3章へ。

- 「③まちづくりの重点方針」および「⑤まちづくり指標」は総合計画に包含する地方版総合戦略として第7次・基本計画へ移行。

- 第7次における「I 基本構想」「第3章 まちづくりの基本方針（施策の大綱）」は、特に10年先を見据えて、6本の柱立てから5本へスリム化を図った。「2. 魅力あふれるまちづくり」の中では、シティプロモーションの方向性を位置付けるなど、情報発信の中で魅力を高めていく。

- 第6次における「基本構想」「3 基本構想の推進にあたって」は、第7次において「計画の推進にあたって」とし、基本計画への展開へ橋渡しするものとした。

第7次瑞浪市総合計画（基本構想）

I 基本構想

（骨子案）

第1章 はじめに

1. 計画策定の趣旨
2. 計画の位置づけ等
3. 計画の構成・期間

第2章 目指すビジョン

1. 将来都市像
2. 人口フレーム
3. 土地利用構想

第3章 まちづくりの基本方針（施策の大綱）

1. 人・未来を育むまちづくり
2. 魅力あふれるまちづくり
3. 生涯活躍のまちづくり
4. 活みなぎるまちづくり
5. 持続可能なまちづくり

第4章 計画の推進にあたって

1. 市民の役割
2. 行政の役割

II 計画の策定にあたって

第1章 瑞浪市の姿

第2章 社会潮流

第3章 現状・課題と今後の方向性

第4章 瑞浪市人口ビジョンと総合戦略